



学校だより

## 『未来を拓く礎を』

第4号

平成26年6月3日発行  
江戸川学園取手小学校

### 運動会のお礼、次是水遊び・水泳

学校長 若林 富男

記念すべき第1回運動会は、真夏のような天候の日となりましたが、予定通りに終えることができました。子どもたちは、炎天下にもかかわらず、それぞれの競技や演技に力を出し切って活躍していました。開会式の入場行進がとても上手でした。中・高等学校の吹奏楽部の演奏やチアリーダー部の演技にも感謝です。保護者の皆様からもたくさんのご声援をいただきありがとうございました。ご家庭内でもたくさんの励ましのことばがあったことと存じます。

さて、6月9日（月）にプール開きをし、翌10日から水泳学習が始まります。安全で充実した水泳学習のため、水着・水泳帽等の持ち物の準備やプールに入るための健康管理、水泳カードの記入など、ご家庭のご協力をよろしくお願いします。

### 梅雨ときには読書を

本校の子どもたちは、朝学習や学童保育のときに、よく本を読んでいます。活字離れが叫ばれている最中、本を読むのは大変よいことです。いつも読みかけの本を手元に持っているのが好ましいことです。

今しばらくすると、梅雨入りします。雨の日の過ごし方をよく考え、天候に合わせて生活できるようにしていきます。「晴耕雨読」ならぬ『晴校庭雨読』をお勧めします。晴れた日には校庭で元気に外遊びをし、雨の日には教室や図書室、共同学習室で、静かに読書に親しんでほしいものです。ご家庭の中でも、親は親の本を読み、子どもは子どもの本を読むような「親子読書」に取り組んでみませんか。本を読まない「考える」力は付きません。

### 全校朝会での校長先生の話（要旨）「歩くところは歩く、走るところは走る」（5月26日）

校舎内の廊下や階段は歩くところです。ぶつかるとお互いにけがをすることがあります。まもなく運動会です。運動会の行進はそろえて「歩く」ところです。体操の隊形の開くとき、もとに戻るときは、「駆け足」で走るところです。

ダンスや行進のように、みんなと合わせるところは合わせます。かけっこやリレーのように、自分の力を出すときは自分を出します。心を合わせ、手足を合わせる「行進」を楽しみにしています。

### <トピックス>

◇職員室前の花壇で草取りや水やりをしていると、お迎えの保護者から「お手伝いしましょうか」と、声をかけていただくことがあります。今後、後援会活動やボランティア活動について考えていきます。

◇いばキラテレビの学校紹介「突撃！となりの学校」を、ご覧になりましたでしょうか。テレビ局のHPの更新が遅れたようですが、現在アップされています。You Tubeでは、いつでもご覧になれます。

◇アフタースクールは、1時間単位のコマ設定となっています。学童保育の場合、早めの引き取りを可能としますので、共同学習室前の廊下までおいでください。学童保育指導員が引き渡します。

◇児童手帳P. 17に記載の通り、学校には貴重品やお金を持ってこないことになっています。先日、ICカード入金許可願を配布したところ、高額の入金額を記入した方がありました。最低必要なお金とは何なのでしょうか。下校時にICカードで飲み物を買った児童が出たための問い掛けなのです。

◇7月5日（土）の午前中は、オープンスクールがあり登校日です。参加者向けに、授業参観、施設案内、幼児体験教室を行う予定です。

6月の行事予定

1	日	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	休業土曜日
8	日	
9	月	プール開き
10	火	プール指導開始
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	授業④ 第2回学校説明会
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	休業土曜日
22	日	
23	月	
24	火	避難訓練
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	授業⑤
29	日	
30	月	

※7月5日(土) オープンスクール(登校日)

田植え体験



1・2年生の田植え体験は、ともに晴天に恵まれました。

豊かな陽の光と初夏を告げる風がそよぐ筑波山のふもとで、お米作りとはどのようなものを学習しました。田んぼに入るのに、はじめはみんな抵抗があって、おっかなびっくりな状態でした。

田植えの後は、おいしいお米で炊いたおにぎりや、収穫したての野菜が入った豚汁をいただきました。「外で食べるのが気持ちいい。」「おいしい！うちのの人に持ってかえりたい。」という感想が多く聞かれました。

農家の人の仕事や苦勞を、肌で実感する貴重な体験ができました。

第1回 運動会



第1回運動会が開催されました。児童たちも、この日のために熱心に練習を重ねてまいりました。

当日の強い日差しを吹き飛ばすように、元気いっぱいに躍動していました。中高吹奏楽部の演奏やチアリーダー部の演技は、今後の児童たちの進んでいく道標となるものでした。